



2020年9月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年1月29日

上場会社名 前田工織株式会社
 コード番号 7821 URL <http://www.maedakosen.jp/mdk>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 前田 征利

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 常務執行役員 (氏名) 斉藤 康雄

TEL 0776-51-3535

四半期報告書提出予定日 2020年1月29日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年9月期第1四半期の連結業績(2019年9月21日～2019年12月20日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年9月期第1四半期	10,842	10.1	1,588	0.4	1,636	2.6	1,131	15.4
2019年9月期第1四半期	9,845	13.6	1,581	30.7	1,594	29.7	1,337	54.7

(注) 包括利益 2020年9月期第1四半期 1,105百万円 (20.4%) 2019年9月期第1四半期 1,387百万円 (52.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年9月期第1四半期	35.98	34.90
2019年9月期第1四半期	41.48	41.46

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年9月期第1四半期	55,281	31,912	57.6
2019年9月期	54,021	31,152	57.5

(参考) 自己資本 2020年9月期第1四半期 31,818百万円 2019年9月期 31,059百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年9月期		9.00		11.00	20.00
2020年9月期					
2020年9月期(予想)		10.00		10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年9月期の連結業績予想(2019年9月21日～2020年9月20日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	20,550	7.1	2,350	15.6	2,350	16.4	1,700	23.1	54.05
通期	40,300	6.5	4,500	15.8	4,500	16.5	3,300	18.7	104.92

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 有 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年9月期1Q	32,260,200 株	2019年9月期	32,260,200 株
期末自己株式数	2020年9月期1Q	808,192 株	2019年9月期	808,192 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年9月期1Q	31,452,008 株	2019年9月期1Q	32,233,908 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業業績の拡大基調により、雇用・所得環境の改善や設備投資の増加が続いており、各種政策の効果も相まって、緩やかな回復基調が続いております。一方、企業業績は高い水準にあるものの、米中の貿易摩擦の長期化、英国のEU離脱問題等を背景に、輸出や生産は弱含み、製造業を中心とした弱さが一段と増しております。今後の先行きも、海外経済の動向や金融資本市場の変動が国内経済に与える影響に注視していく必要があります。

このような状況のなか、当社グループでは、企業メッセージとして「前田工織は混ぜる会社です」を掲げております。このメッセージには、当社グループが持続的成長を遂げるための強い思いを込めており、グループの持つあらゆる経営資源を有機的に「混ぜる」ことで、成長戦略である「M&A」、「人材育成」、「海外事業」を積極的に推進するための原動力になると考えております。

まず、成長戦略の柱と位置付けるM&A戦略においては、事業の多角化をさらに進めるとともに、M&Aにより国内外の地方企業の活性化と地方創生に貢献してまいります。また、当社グループがこれまで培ってきた繊維・樹脂の加工技術に捉われず、異分野がもつ様々な技術やノウハウを「混ぜる」ことで、新製品や新技術を創出してまいります。

人材育成においては、グループ社員全員を戦力化するほか、多様な人材を採用・育成し、それらの能力・経験から生まれる人的資源を「混ぜる」ことで、イノベティブな組織風土を築いてまいります。なお、当社グループでは、「従業員の健康が会社の未来を決める」との考え方のもと、すべての従業員の健康に深く関わっていくことを決意し、「健康宣言」を行い、健康で働きがいのある職場づくりに向けた様々な施策に取り組んでおります。

海外事業においては、海外の生産拠点を拡充するとともに、外国籍企業との業務提携等を通じて国内外の技術や販売ネットワークを活用することで、当社グループ製品の市場拡大を目指してまいります。

当第1四半期連結累計期間の売上高は10,842百万円（前年同期比10.1%増）となりました。利益面におきましては、営業利益は1,588百万円（同0.4%増）、経常利益は1,636百万円（同2.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,131百万円（同15.4%減）となりました。なお、親会社株主に帰属する四半期純利益の減少は、2018年10月29日付で株式会社釧路ハイミールを子会社化したことに伴い、前年同期に負ののれん発生益213百万円を計上した反動によるものであります。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

(ソーシャルインフラ事業)

当社の公共工事業業においては、盛土補強材や排水材、斜面防災製品、森林保全製品等の売上が順調に推移いたしました。また、営業利益は、原価低減、運賃等上昇分の販売価格への転嫁により、前年同期を大幅に上回る結果となりました。不織布関連の製品については、主に産業資材、自動車資材等で使用されるспанボンド（連続長繊維不織布）の受注が伸び悩み、売上は前年同期を下回りましたが、原価低減や一部粗利率の高い製品の取扱い増加により、利益は前年同期を上回る結果となりました。

獣害対策製品、園芸用ハウス、農業資材を取り扱う子会社の未来のアグリ株式会社においては、獣害防止柵や酪農用品、園芸用ハウスの一部工事進捗に遅れが生じたことや低粗利案件の受注が増加したことにより、売上・利益とも前年同期を下回る結果となりました。また、天幕や帆布生地製品を取り扱う子会社の未来テクノ株式会社では、需要期に向けた調整期間となったため、売上・利益とも前年同期を下回る結果となりました。なお、フィッシュミール及び魚油の製造・販売を行う株式会社釧路ハイミールは、売上・利益とも計画に対して好調に推移いたしました。同社につきましては、2018年10月29日付で子会社化しており、前第2四半期連結累計期間より業績に含めております。

海外子会社であるMAEDA KOSEN VIETNAM CO., LTD.においては、取扱製品の拡充により売上・利益ともに伸長しました。同社では、第3、第4工場の稼働による生産拡充を活かして、当社グループ製品のASEAN地域における販路拡大に努めております。また、台湾のGOLD-JOINT INDUSTRY CO., LTD.との業務提携を有効活用することで、海外販売網の拡大を図っております。

当事業の売上高は7,314百万円（前年同期比19.6%増）、営業利益は1,401百万円（同33.2%増）となり、売上・利益とも前年同期を上回る結果となりました。

(インダストリーインフラ事業)

インダストリーインフラ事業では、精密機器製造用ワイピングクロス、衣料・各種産業資材用の丸編製品を製造・加工・販売する子会社の未来コーセン株式会社において、自社製品のワイピングクロスの販売が好調であったものの、受託製品が衣料向けを中心に伸び悩んだ結果、売上・利益とも前年同期を下回りました。

当事業の売上高は550百万円（前年同期比10.3%減）、営業利益は97百万円（同13.7%減）となりました。

(ヒューマンインフラ事業)

ヒューマンインフラ事業では、アルミ鍛造ホイールを製造・販売する子会社のBBSジャパン株式会社において、海外向けの自動車メーカー向けOEM供給やアフター市場向け製品が好調に推移したものの、同社のドイツ子会社BBS Motorsport GmbHにおいて、OEM採用車種の入替え調整時期により業績が伸び悩んだ結果、売上は前年同期を下回る結果となりました。また、営業利益は、新規設備や新工場の本格稼働に向けた人件費や航空運賃等の一時的な増加により、前年同期を大幅に下回る結果となりました。

当事業の売上高は2,976百万円（前年同期比4.4%減）、営業利益は397百万円（同39.9%減）となりました。

(その他の事業)

その他の事業では、子会社のMDKメディカル株式会社が医療機器の治験に向けて本格的に準備を開始したことで、営業損失は46百万円となりました。なお、当事業は前第4四半期連結累計期間より業績に含めているため、前年同期比較は行っておりません。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ1,260百万円増加し55,281百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ1,084百万円減少いたしました。これは主に、受取手形及び売掛金が1,135百万円、電子記録債権が311百万円それぞれ増加したものの、現金及び預金が2,361百万円減少したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ2,344百万円増加いたしました。これは主に、有形固定資産が2,300百万円増加したことによるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ501百万円増加し23,369百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ203百万円増加いたしました。これは主に、未払法人税等が301百万円、未払金が259百万円それぞれ減少したものの、支払手形及び買掛金が253百万円、電子記録債務が193百万円それぞれ増加したことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ298百万円増加いたしました。これは主に、リース債務が240百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ759百万円増加し31,912百万円となりました。これは主に、利益剰余金が785百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2019年11月1日の決算短信で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年9月20日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年12月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,412,324	8,050,930
受取手形及び売掛金	8,450,798	9,585,918
電子記録債権	2,617,741	2,929,517
商品及び製品	3,844,862	3,765,658
仕掛品	1,215,510	1,241,890
原材料及び貯蔵品	2,254,255	2,360,877
その他	614,850	391,351
貸倒引当金	△2,608	△2,513
流動資産合計	29,407,734	28,323,631
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	8,095,909	8,135,135
減価償却累計額	△4,521,767	△4,586,570
建物及び構築物(純額)	3,574,141	3,548,565
機械装置及び運搬具	10,845,026	11,179,651
減価償却累計額	△7,611,051	△7,798,330
機械装置及び運搬具(純額)	3,233,974	3,381,320
土地	3,896,763	3,896,763
建設仮勘定	7,061,226	8,953,954
その他	2,631,032	2,976,702
減価償却累計額	△2,277,147	△2,337,228
その他(純額)	353,885	639,473
有形固定資産合計	18,119,991	20,420,077
無形固定資産		
のれん	303,427	245,862
ソフトウェア	119,357	112,444
ソフトウェア仮勘定	5,292	4,212
商標権	701,674	689,378
技術資産	163,416	154,166
その他	500,820	498,811
無形固定資産合計	1,793,988	1,704,875
投資その他の資産		
投資有価証券	3,452,034	3,641,022
繰延税金資産	601,978	521,572
その他	645,577	670,801
貸倒引当金	△136	△136
投資その他の資産合計	4,699,454	4,833,260
固定資産合計	24,613,435	26,958,213
資産合計	54,021,169	55,281,845

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年9月20日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年12月20日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,373,179	1,626,338
電子記録債務	2,071,986	2,265,634
短期借入金	—	100,000
1年内償還予定の社債	76,000	76,000
1年内返済予定の長期借入金	1,246,424	1,245,004
未払金	2,054,347	1,794,725
リース債務	—	21,556
未払法人税等	919,978	618,874
賞与引当金	429,738	295,941
契約損失引当金	97,984	94,408
設備関係支払手形	60,012	99,155
その他	273,032	568,268
流動負債合計	8,602,683	8,805,908
固定負債		
社債	28,000	15,000
新株予約権付社債	12,055,000	12,052,000
長期借入金	266,650	261,649
長期末払金	614,458	613,961
リース債務	—	240,972
繰延税金負債	173,225	240,228
役員退職慰労引当金	51,090	45,894
退職給付に係る負債	1,031,032	1,048,073
その他	46,055	46,055
固定負債合計	14,265,511	14,563,833
負債合計	22,868,194	23,369,742
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,472,349	3,472,349
資本剰余金	3,431,977	3,431,977
利益剰余金	26,352,154	27,137,852
自己株式	△2,001,135	△2,001,135
株主資本合計	31,255,346	32,041,044
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△44,174	△8,177
繰延ヘッジ損益	673	—
為替換算調整勘定	△152,827	△215,938
退職給付に係る調整累計額	368	1,585
その他の包括利益累計額合計	△195,960	△222,530
新株予約権	93,589	93,589
純資産合計	31,152,975	31,912,103
負債純資産合計	54,021,169	55,281,845

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年9月21日 至 2018年12月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年9月21日 至 2019年12月20日)
売上高	9,845,343	10,842,250
売上原価	6,052,873	6,875,254
売上総利益	3,792,470	3,966,995
販売費及び一般管理費	2,210,730	2,378,473
営業利益	1,581,740	1,588,521
営業外収益		
受取利息	585	94
有価証券利息	—	3,000
受取配当金	517	517
為替差益	15,001	—
受取保険金	12,534	48,875
固定資産売却益	741	879
その他	14,150	11,446
営業外収益合計	43,531	64,814
営業外費用		
支払利息	1,517	1,430
為替差損	—	2,510
固定資産除却損	12,467	4,278
災害による損失	16,114	—
補修費用	—	7,771
その他	362	702
営業外費用合計	30,461	16,694
経常利益	1,594,810	1,636,641
特別利益		
負ののれん発生益	213,470	—
特別利益合計	213,470	—
税金等調整前四半期純利益	1,808,281	1,636,641
法人税、住民税及び事業税	322,099	370,536
法人税等調整額	149,018	134,434
法人税等合計	471,118	504,971
四半期純利益	1,337,163	1,131,670
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,337,163	1,131,670

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年9月21日 至 2018年12月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年9月21日 至 2019年12月20日)
四半期純利益	1,337,163	1,131,670
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△18,268	35,997
繰延ヘッジ損益	—	△673
為替換算調整勘定	66,579	△63,110
退職給付に係る調整額	2,154	1,216
その他の包括利益合計	50,465	△26,570
四半期包括利益	1,387,628	1,105,100
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,387,628	1,105,100

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

国際財務報告基準を適用している在外連結子会社は、当第1四半期連結会計期間より、国際財務報告基準第16号「リース」(以下「IFRS第16号」という。)を適用しております。これにより、リースの借手は、原則としてすべてのリースを貸借対照表に資産及び負債として計上することとしました。IFRS第16号の適用については、経過措置として認められている本基準の適用による累積的影響を適用開始日に認識する方法を採用しました。

この結果、当第1四半期連結会計期間末の有形固定資産の「その他(純額)」が262,479千円、流動負債の「リース債務」が21,556千円及び固定負債の「リース債務」が240,972千円増加しております。なお、当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2018年9月21日 至 2018年12月20日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ソーシャル インフラ事業	インダストリー インフラ事業	ヒューマン インフラ事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	6,117,139	613,602	3,114,601	9,845,343	—	9,845,343
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,078	85	—	1,164	△1,164	—
計	6,118,218	613,687	3,114,601	9,846,507	△1,164	9,845,343
セグメント利益	1,052,308	113,243	661,940	1,827,492	△245,752	1,581,740

(注) 1. セグメント利益の調整額△245,752千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。なお、全社費用は、主に当社の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2019年9月21日 至 2019年12月20日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	ソーシャル インフラ 事業	インダ ストリー インフラ 事業	ヒューマン インフラ 事業	計				
売上高								
外部顧客 への 売上高	7,314,819	550,490	2,976,940	10,842,250	—	10,842,250	—	10,842,250
セグメン ト間の内 部売上高 又は振替 高	5,051	542	—	5,594	—	5,594	△5,594	—
計	7,319,871	551,033	2,976,940	10,847,844	—	10,847,844	△5,594	10,842,250
セグメント 利益又は損 失(△)	1,401,470	97,736	397,807	1,897,014	△46,390	1,850,623	△262,101	1,588,521

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ヘルスケア事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△262,101千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。なお、全社費用は、主に当社の管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。